

# 令和7年度 議会局 運営方針

## I 基本目標

○議員・行政から信頼される議会局

○市民からの期待に応えられる横浜市会を支える議会局

－横浜市議会基本条例を踏まえて、二代表制の下、執行機関との橋渡し役として、市民が議会に期待する役割を十分に発揮できるよう、議会局が一体となってサポートします。－

## II 目標達成に向けた施策

### 1 円滑・効率的・効果的な議会運営のサポート

本会議・常任委員会・特別委員会等における、市政の重要課題等に係る審議・審査及びペーパーレス化など、議会運営上の課題解決に向けた検討について、的確にサポートします。

### 2 市民に分かりやすい開かれた議会への取組のサポート

議会の公開・傍聴、議会活動等の透明性確保、多様な手法による市民への情報提供、若い世代に議会を身近に感じてもらう取組の推進など、市民に分かりやすい開かれた議会への取組を的確にサポートします。

### 3 政策立案等の様々な議会活動のサポート

議員の政策立案等に向けた情報収集、調査研究、議員研修会、法律相談を行います。また、国際交流を促進する市会歓迎行事などを実施するとともに、議長・副議長の公務などを的確にサポートします。

## III 目標達成に向けた組織運営

### 1 人材育成の推進、チーム力の向上、組織機能の充実・強化

議員・市民の視点に立ち、自ら考え行動するプロアクティブな姿勢を持った職員を育成するとともに、職員のタテ・ヨコ・ナナメの連携を深め、最大限にチーム力を発揮します。また、議会活動を円滑かつ効果的に行えるよう、組織機能の充実・強化に努めます。

### 2 リスクマネジメント、危機発生を見据えた対応

財務事務の適正執行、事務処理ミスの防止など、適正な事務執行を確保するためのリスクマネジメントを推進するとともに、危機管理についてすべての職員が主体的に取り組み、危機発生を見据えた対応を徹底します。

### 3 働きやすい職場づくり

限られた時間の中で最大の成果・効果が得られるよう業務の効率化を進めます。また、職員誰もが心身ともに健康で、能力・役割を十分に発揮して活躍できる職場環境づくりを進めます。

【主な事業・取組】	【内容】
<b>Ⅱ 目標達成に向けた施策・Ⅲ組織運営に取り組むにあたり特に留意すべきこと</b>	
●歳出改革 ●DXの推進	⇒事業執行の効率性追求と適切な予算執行管理(通年) ⇒効率的・効果的な業務実施に向けたDXの推進(通年)
<b>Ⅱ-1 円滑・効率的・効果的な議会運営のサポート</b>	
●議会運営に関する取組	⇒市政の重要課題等に係る審議・審査などの確なサポート(随時) ⇒議会運営のペーパーレス化の推進など課題解決に向けた検討について、的確にサポート(通年)
<b>Ⅱ-2 市民に分かりやすい開かれた議会への取組のサポート</b>	
●議会の公開・傍聴	⇒全ての人が安心して傍聴できる取組の実施(親子傍聴室の運用、音声認識システムの運用等)、インターネット中継システムによる、議会審議状況の情報提供(通年)
●議会活動等の透明性確保・情報提供	⇒「資産等報告書」等及び「政務活動費収支報告書」等の公開(7月) ⇒積極的な情報提供(本会議・委員会資料、質疑通告、海外視察報告書、記者発表等)(随時)
●市民に向けた積極的な議会活動のPR・開かれた議会への取組	⇒ターゲットに合わせた媒体を活用した議会広報(議会だよりの発行、テレビ番組の放映、動画の配信、市会周知用ポスターの作成、デジタルサイネージの放映、ホームページ・フェイスブック・Xによる情報提供、子ども向けリーフレットの発行等)(通年) ⇒インターネット中継システムによる、議会審議状況の情報提供(再掲)
●若い世代に向けた、議会をより身近に感じてもらうための取組の推進	⇒市内小・中学校を対象とした市会議事堂見学及び本会議傍聴等の実施(通年) ⇒中学生職場体験学習の受入れや高校生市会訪問を行い、議事堂見学や議会に関するレクチャー、高校生と議員との意見交換を実施(通年) ⇒議連活動のサポートを通じて、市政に関する次世代の声を聴く機会を創出(通年) ⇒大学生を対象としたキャリア教育プログラムとして、議会に関するレクチャーや議員との意見交換を実施。大学と連携し、地方議会をテーマとするゼミナールに協力(年1回) ⇒各種見学等の機会での学習動画の活用・広報(通年)
<b>Ⅱ-3 政策立案等の様々な議会活動のサポート</b>	
●政策立案等のサポートに関する取組	⇒議員の政策立案等に向けた情報収集・調査等の依頼に対する迅速な対応、適切な情報発信(随時) ⇒市会情報システムや市会デジタルキャビネットを活用した情報提供(通年) ⇒議員研修会の開催(年1回)、市会図書室による調査研究のサポート(通年) ⇒法制に関する調査・相談(通年)
●国際交流等の推進	⇒議員派遣による海外視察のサポート(随時) ⇒市会歓迎行事(議場演説等)の実施、議連による国際交流、姉妹友好都市周年に伴う交流活動のサポート、TICAD9及び「GREEN×EXPO 2027」成功に向けた機運醸成
●議長・副議長の秘書	⇒議長・副議長公務の的確なサポート、ホームページ等を活用した公務の発信(通年)
<b>Ⅲ-1 人材育成の推進、チーム力の向上、組織機能の充実・強化</b>	
●人材育成の推進	⇒議員・市民の視点に立って、業務の基本、根拠や経緯をしっかり踏まえ、状況に応じた柔軟な対応ができるプロアクティブな姿勢を持った人材の育成(通年) ⇒業務への適切な指示・助言や達成度の共有・振り返りなど、積極的なコミュニケーションによる職員一人一人の力を引き出す能力開発とキャリア形成の支援(通年) ⇒次代の議会局を担う人材の育成(通年)
●職員の意欲・能力の発揮と連携によるチーム力の向上	⇒職員一人一人が議会局の果たす役割や業務の関連性を意識し、意欲と能力を最大限発揮できる職場づくり(通年) ⇒局内4課、議員室及び守衛・警備室の緊密な連携を図るとともに、組織(課)の枠を超えたチーム力を発揮(通年) ⇒感度を高めた情報収集と前向きでスピード感のある業務執行(通年)
●議会局機能の充実・強化の取組	⇒議会基本条例に基づく議会局の組織機能の充実とサポート機能の強化(通年)
<b>Ⅲ-2 リスクマネジメント、危機発生を見据えた対応</b>	
●リスクマネジメント	⇒財務に関する適正な事務執行、進捗管理の徹底、事務処理ミス等の未然防止(通年) ⇒リスクコミュニケーションの定着を図り、コンプライアンス意識を高める(通年)
●危機発生を見据えた対応	⇒職員の危機意識を醸成するため、局内の防災訓練等を実施(随時)
<b>Ⅲ-3 働きやすい職場づくり</b>	
●デジタル化の推進と職場マネジメント強化による業務効率化	⇒効率的・効果的な業務実施に向けたDXの推進(通年) ⇒こまめな進捗管理と意思決定の迅速化など責任職による職場マネジメントの徹底強化(通年)
●心身ともに健康で誰もが働きやすい職場づくり	⇒職員が心身ともに健康で働くことができる職場環境づくりとワークライフバランスの推進(通年)